

- 問1 北海道の中央南部に位置し、石狩低地帯の東側から南の襟裳岬方面へと南北に連なる険しい山脈の名称として、最も適切なものを選びなさい。
(2024年 岡山県公立入試 類似)
1. 日高山脈 2. 赤石山脈 3. 飛騨山脈 4. 奥羽山脈
- 問2 北海道の自然環境と産業に関連して、網走市や知床半島の沿岸で見られる冬季の自然現象と、その海域の特徴について説明した文として最も適切なものを次の中から選びなさい。
(2025年 群馬県公立入試 類似)
1. オホーツク海に面しており、冬に押し寄せる流氷がプランクトンを運ぶため、豊かな漁場が形成される。 2. 日本海に面しており、暖流の影響で冬も海水温が高いため、流氷が接岸することはない。 3. オホーツク海に面しており、夏になると南東からの湿った季節風によって流氷が再び発生する。 4. 太平洋に面しており、親潮（千島海流）の影響で一年中流氷が漂い、大規模な稲作が行われている。
- 問3 日本最大の面積を持つ地域における産業構造の特徴について、統計資料から読み取れる傾向として適切な説明はどれか、次の中から選びなさい。
(2022年 愛知県公立入試 類似)
1. 広大な土地を利用した大規模な水稲栽培などの農業が盛んである一方、第3次産業の就業者割合は約6割強にとどまっている。 2. 大規模な土地利用による農業は衰退しており、現在は製造業と観光業のみが地域の主要な産業となっている。 3. 製造品出荷額等が約25兆円と極めて高く、第2次産業の就業者割合が第3次産業を大きく上回っている。 4. 日本最大の面積を持つが、寒冷な気候のため水稲栽培は行われず、サービス業などの第3次産業が就業者の大半を占める。
- 問4 北海道において、宿泊施設の延べ宿泊者数や温泉地数が全国的に見て極めて多い水準にある理由と、その観光業の特色について述べた説明として、最も適切なものはどれですか。
(2023年 福岡県公立入試 類似)
1. 首都圏からの距離が近いこと、日帰りの観光客を主なターゲットとした小規模な宿泊施設が特定の都市に集中し、効率的な運営が行われているため。 2. 冬季の積雪が厳しいこと、観光の主力は夏場の避暑や農業体験に限定されており、季節による宿泊者数の変動が極めて大きい構造となっているため。 3. 歴史的な寺社仏閣が全国で最も多く、それらの伝統的建造物を宿泊施設として再利用する取り組みが全道で進んでいるため。 4. 火山帯に位置する地理的条件を活かした温泉地が各地にあり、広大な自然景観やパウダースノーなどの地域資源を求めて国内外から多くの観光客が訪れるため。
- 問5 2012年から2016年にかけての、北海道における外国人宿泊者数の推移と傾向について述べた文として、統計的事実に基づいた正しいものはどれですか。
(2018年 山形県公立入試 類似)
1. 北海道を訪れる外国人宿泊者数は、2012年と比較して2016年には夏季・冬季ともに減少し、日本人観光客中心の構成へと変化した。 2. 2012年から2016年にかけて、外国人宿泊者数は夏季・冬季ともに大幅に増加しており、特に冬季の宿泊者数が夏季を上回る傾向が顕著になっている。 3. 2012年から2016年にかけて、夏季の外国人宿泊者数は順調に増加しているが、冬季については横ばい、または微減の傾向にある。 4. 外国人宿泊者数は通年で増加傾向にあるが、2016年時点の統計においても、依然として夏季の宿泊者数が冬季を大きく上回っている。
- 問6 1977年から2017年にかけての北海道における稲作の動向について、作付面積と総収穫量はともに減少していますが、1ヘクタールあたりの収穫量は増加傾向にあります。このように、一定の土地面積から得られる収穫量が増える背景として、最も適切な説明はどれですか。
(2019年 岡山県公立入試 類似)
1. 化学肥料の使用を一切やめ、伝統的な手作業による農法に回帰したため。 2. 政府の減反政策により、小規模な農家がすべて廃業して大規模農場に集約されたため。 3. 生産技術の向上や寒さに強い品種改良が進み、土地あたりの生産性が高まったため。 4. 地球温暖化の影響のみによって、北海道全域が稲作に最適な亜熱帯気候に変化したため。
- 問7 北海道の農業は、農業従事者一人あたりの耕地面積が非常に広いことが特徴です。このような土地条件のもとで行われている農業のあり方について説明した文として、最も適切なものはどれですか。
(2017年 福岡県公立入試 類似)
1. 土地の生産性を高めるために、多くの労働力を投入する労働集約的な稲作が広く行われている。 2. 広大な農地を効率的に管理するため、大型機械を活用した大規模な機械化農業が展開されている。 3. 限られた土地から高い収益を得るため、ビニールハウスなどを活用した施設園芸農業が中心となっている。 4. 寒冷な気候による被害を防ぐため、耕地面積を小さく抑え、小規模で多品目な栽培を行っている。
- 問8 北海道の中西部を流れる石狩川の下流域には、かつて大規模な泥炭地（湿地帯）が広がっていましたが、土地改良が進んだことで現在は日本有数の稲作地帯となっています。石狩川の河口が面している海域と、その流域に広がる平野の組み合わせとして正しいものはどれですか。
(2019年 岡山県公立入試 類似)
1. オホーツク海と北見盆地 2. 日本海と石狩平野 3. 太平洋と根釧台地 4. 太平洋と十勝平野
- 問9 北海道の倶知安町や二セコ町における外国人宿泊客数の統計では、12月から3月にかけての冬季の客数が突出して多く、他の月との格差が非常に大きいという特徴が見られます。このような宿泊客の動向が生まれている地理的な背景として、最も適切な説明はどれですか。
(2025年 群馬県公立入試 類似)
1. 夏休みの期間を利用した大規模な農業体験が外国人家族連れに普及しているため 2. 梅雨のない気候を求めて、アジア圏から多くの避暑客が長期滞在するため 3. 流氷を観察するための砕氷船観光が、外国人観光客の最大の目的となっているため 4. 世界屈指の雪質を求めて海外から多くのスキー・スノーボード客が訪れるため
- 問10 北海道の日本海沿岸に位置する稚内付近では、5月から6月にかけて月別平均日照時間がピークを迎えます。このような自然環境に関する説明として、誤っているものはどれですか。
(2021年 兵庫県公立入試 類似)
1. 日本海を北上する対馬海流は暖流であり、この地域の気候に影響を与えている。 2. この地域が日本の他地域に比べて高緯度にあることは、夏季の昼の時間が長くなる要因となっている。 3. 5月から6月にかけて日照時間が長くなるのは、梅雨前線の影響を本州ほど受けにくいことも背景にある。 4. 夏季の日照時間が長いのは、寒流である千島海流が宗谷海峡を通過して日本海へ流れ込み、雲の発生を抑えるからである。
- 問11 北海道の北東部に位置し、冬になるとシベリア沿岸から流れてきた「流氷」が網走や紋別、知床半島の沿岸に押し寄せることで知られる海域の名称を選びなさい。
(2025年 群馬県公立入試 類似)
1. オホーツク海 2. 日本海 3. 太平洋 4. 東シナ海

問1 北海道の経済や文化の変遷について、かつての商業都市である小樽と、自然保護が進む釧路湿原の背景を説明した文として、正しいものを次のうちから選びなさい。 (2021年 鳥取県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. 釧路湿原は、寒冷な気候を活かした稲作の適地として開発が進んだが、現在は冷害に強い品種改良の実験場となっている。 | 2. 小樽は、かつて石炭の積み出しやニシン漁の拠点として発展し、現在はその歴史的な倉庫群が観光資源として活用されている。 | 3. 釧路湿原は、農地開発や工業用地としての利用を目的として大規模な埋め立てが行われた結果、世界文化遺産に登録された。 | 4. 小樽は、江戸時代に東廻り航路の終着点として栄えたため、現在も大規模な製鉄所が稼働する重化学工業都市となっている。 |
|--|--|---|---|

問2 北海道の道庁所在地である札幌周辺の地理的特徴と、地名の由来について述べた文として、最も適切なものはどれか。 (2021年 熊本県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|--|---|--|
| 1. 十勝川の流域に広がる十勝平野に位置し、地名は江戸時代の松前藩の役職名に由来する。 | 2. 大規模な火山灰地が広がる根釧台地に位置し、地名は明治時代に移り住んだ屯田兵の出身地に由来する。 | 3. 石狩川や豊平川の堆積作用によって形成された石狩平野に位置し、地名は先住民族であるアイヌの言葉に由来する。 | 4. 広大な泥炭地が広がる石狩平野の沿岸部に位置し、地名は本州から移り住んだ開拓使の言葉に由来する。 |
|---|--|---|--|

問3 北海道の知床や鹿児島県の屋久島など、貴重な自然環境が残る地域では、観察用のデッキや木道を設置する取り組みが行われています。観光客に地域の自然を体験してもらう一方で、踏みつけなどによって自然が破壊されることを防ぎ、環境の保全と観光を両立させるこのような仕組みを何と呼びますか。 (2022年 沖縄県公立入試 類似)

- | | | | |
|--------------|------------|------------|----------------|
| 1. グリーンツーリズム | 2. エコツーリズム | 3. マスツーリズム | 4. バリアフリーツーリズム |
|--------------|------------|------------|----------------|

問4 北海道の知床半島のすぐ東側に位置し、択捉島、色丹島、歯舞群島とともに、日本固有の領土でありながら現在はロシアによって法的根拠なく占拠されている島を何というか。 (2019年 岡山県公立入試 類似)

- | | | | |
|--------|---------|--------|--------|
| 1. 択捉島 | 2. 歯舞群島 | 3. 色丹島 | 4. 国後島 |
|--------|---------|--------|--------|

問5 北海道では、小麦や小豆などの畑作物の生産割合が全国の過半数を超える圧倒的なシェアを占めています。このような高い生産力を支えている北海道の農業の特徴として、最も適切な説明はどれですか。 (2025年 群馬県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. 消費地に近い利点を活かし、ピニールハウスなどの施設を用いて出荷時期を早める促成栽培が行われている点 | 2. 1戸あたりの耕地面積が非常に広く、大型機械を活用した大規模農業が行われている点 | 3. 山がちな地形を活かした段々畑が整備され、果樹栽培と稲作を組み合わせた複合経営が行われている点 | 4. 夏でも温暖な気候を利用して、同じ土地で年に2回作物を作る二期作が行われている点 |
|--|--|---|--|

問6 東京都から各道県への旅客輸送に関する統計において、ある道県は鉄道の利用者が約19万人であるのに対し、航空機の利用者が約627万人と突出して多くなっています。この統計が示す道県の名称と、航空機の利用割合が極めて高い理由の組み合わせとして最も適切なものを次から選びなさい。 (2022年 栃木県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|--|--|---|
| 1. 道県名は北海道であり、青函トンネルが貨物専用となっており、旅客が鉄道で海を渡ることができないから。 | 2. 道県名は新潟県であり、山岳地帯を通過する鉄道よりも、直線的に移動できる航空機の方が効率が良いから。 | 3. 道県名は大阪府であり、ビジネス客の利便性を高めるために航空路線の便数が鉄道の運行本数を上回っているから | 4. 道県名は北海道であり、東京都からの移動距離が長いので、所要時間の短い航空機が優先的に選択されているから。 |
|--|--|--|---|

問7 北海道の製造品出荷額等の内訳について、全国平均では約11.6パーセントにとどまる一方で、北海道では全体の約33.1パーセントと3割以上を占め、最も大きな割合となっている工業部門は何ですか。 (2018年 三重県公立入試 類似)

- | | | | |
|---------|---------|---------|----------|
| 1. 化学工業 | 2. 機械工業 | 3. 金属工業 | 4. 食料品工業 |
|---------|---------|---------|----------|

問8 北海道の石狩平野などでは、かつて枯れた植物が十分に分解されずに積み重なった、水分が多く農業に不向きな「泥炭地」が広がっていました。この土地で稲作などを可能にするため、他の場所から質の異なる土を運び入れて土壌の性質を改善する土地改良の手法を何といいますか。 (2022年 三重県公立入試 類似)

- | | | | |
|-------|-------|-------|-----------|
| 1. 客土 | 2. 輪作 | 3. 干拓 | 4. 段々畑の造成 |
|-------|-------|-------|-----------|

問9 1960年から2010年までの50年間で、札幌市の人口は約62万人から約191万人へと3倍以上に急増しました。北海道全体の人口が1950年の約430万人から2010年の約551万人へと緩やかな推移を見せる中で、このような札幌市の人口動態が北海道全体に与えている状況として最も適切なものはどれですか。 (2016年 群馬県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|--|---|--|
| 1. 北海道全体の人口が減少局面に入ったことで、札幌市の人口も2010年に向けて激減した。 | 2. 道内人口に占める札幌市の割合が一貫して上昇し、札幌市への一極集中が進んでいる。 | 3. 道内の各都市が札幌市と同様のペースで成長したため、札幌市の人口占有率は低下している。 | 4. 札幌市の人口増加率よりも北海道全体の人口増加率の方が高く、人口の分散が起きている。 |
|---|--|---|--|

問10 北海道の釧路周辺における夏の気候について、統計資料では「8月の平均気温が約18度と低く、日照時間も短い」という特徴が示されることがあります。このような気候になる理由として、最も適切な説明はどれですか。 (2025年 群馬県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. 寒流である千島海流（親潮）によって冷やされた空気が濃霧となり、日射を遮るため。 | 2. オホーツク海高気圧から吹き出す冷たい風「やませ」が、日本海側に低温をもたらすため。 | 3. 冬の季節風が山脈を越えて吹き下ろし、フェーン現象が発生して乾燥するため。 | 4. 暖流である日本海流（黒潮）が湿った空気を運び、大量の降雨をもたらすため。 |
|--|--|---|---|

問11 都道府県別にみた観光地の特徴に関する統計において、自然の観光地数が90か所以上、レクリエーション地数が250か所以上と際立って多い一方で、国指定の重要文化財（建造物）の数は30か所未満にとどまるという特徴を持つ都道府県はどこか、次の中から選びなさい。 (2015年 岐阜県公立入試 類似)

- | | | | |
|--------|--------|--------|--------|
| 1. 東京都 | 2. 奈良県 | 3. 北海道 | 4. 京都府 |
|--------|--------|--------|--------|

問12 日本の都道府県別の統計において、空港の数が14か所と全国で最も多く、新幹線の駅の数が2か所設置されている都道府県があります。この地域において、これほど多くの空港が設置されている地理的な理由として最も適切なものはどれですか。 (2021年 岩手県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|--|---|--|
| 1. 険しい山脈が中央部を走っているため鉄道や道路の建設が難しく、空路が唯一の移動手段となっているため | 2. 日本の国土の約2割を占める広大な面積を持ち、道内の主要都市間を効率的に結ぶ交通手段が必要であるため | 3. 世界遺産の登録数が国内で最も多く、海外からの観光客を各地の観光地へ直接送客する必要があるため | 4. 四方を海に囲まれた島国のような環境であり、本州との往来には航空機を利用する以外の方法がないため |
|---|--|---|--|

1. 大阪市 2. 札幌市 3. 金沢市 4. 宮崎市

1. 海霧 2. やませ 3. フェーン現象 4. ヒートアイランド現象

1. オホーツク海 2. 東シナ海 3. 日本海 4. 太平洋

1. 十勝平野 2. 庄内平野 3. 石狩平野 4. 根釧台地

1. 沿岸部と高標高地点を比較すると、一月よりも八月の方が地点間の気温差が小さくなる。
2. 標高が高い地点では、地形の影響で八月の平均気温が二十七度を超える。
3. 稚内市などの沿岸部では、標高が高い地点よりも八月の平均気温が高くなる傾向がある。
4. 稚内市は最北端に位置するため、一月の平均気温は道内で最も低いマイナス十二度を下回る。

1. 海岸付近の流路をあえて蛇行させることで砂浜の浸食を防ぎ、現在は広大な塩田として利用されている。
2. 山間部の流路を直線化したことで大規模な扇状地が形成され、現在は一面の畑地となっている。
3. 河川を完全に埋め立てて住宅地としたため、現在は鉄道を中心とした放射状の道路網が広がっている。
4. 蛇行していた河川が直線的に改修され、それに伴い基盤目状の道路が整備され、橋の数も増加した。

1. 全域になだらかな丘陵地が続いており、標高の高い山地は存在しない。

2. 中央部に大規模な盆地が存在し、東西の両端にのみ険しい山岳地帯が位置している。

3. 一箇所だけに孤立した高い火山がそびえており、それ以外の大部分は海拔の低い平坦な土地である。

4. 中央部に大雪山系などの標高2000m級の険しい山地が連なり、その両端に平野が広がっている。

1. 太平洋 — カムチャツカ半島沿岸 2. 日本海 — サハリン沿岸 3. オホーツク海 — シベリア沿岸 4. 瀬戸内海 — 中国大陸沿岸

1. 梅雨の時期に湿った空気の影響を強く受けるため、日本海側よりも6月の降水量が多い。

2. 夏に太平洋側から吹き込む冷たく湿った気流の影響で、日本海側よりも夏に晴天の日が少ない。

3. 冬の北西の季節風が山地で遮られるため、日本海側よりも冬の降水（降雪）量が少ない。

4. 暖流の影響を直接受けるため、日本海側の沿岸部よりも冬の気温が高い。

1. 北西からの湿った季節風が、寒流であるリマン海流の上を通る際に冷やされるため。
2. 南東からの湿った季節風が、寒流である親潮（千島海流）の上を通る際に冷やされるため。
3. 南東からの湿った季節風が、暖流である対馬海流の上を通る際に温められるため。
4. 北西からの乾燥した季節風が、暖流である黒潮（日本海流）の上を通る際に温められるため。

1. アイヌ 2. えみし 3. 屯田兵 4. 防人

1. リマン海流（寒流）の影響で冷やされた空気が、太平洋からの湿った風とぶつかるため
2. 小笠原気団の発達により、南からの温かく湿った空気が年間を通じて供給されるため
3. 対馬海流（暖流）の上を通る湿った空気が、北西の季節風によって運ばれてくるため
4. オホーツク海高気圧から吹き出す冷たく湿った北東風が、山脈を越えて流れ込むため

1. 世界貿易機関 2. 東南アジア諸国連合 3. コネスコ 4. 国連児童基金

1. 高度な技術力を持つ労働力が集中しており、自動車や精密機械などの組み立て工場が密集しているため
2. 電力供給が安定しており、大規模な電力を必要とする金属の精錬や基礎化学品の製造に向いているため
3. 原材料を海外から輸入し、消費地である関東地方に近い港湾部で加工・輸送するのに適しているため
4. 広大な土地や豊かな海から得られる農水産資源が豊富であり、原材料の調達が容易であるため

- 問1 北海道のオホーツク海沿岸で見られる流氷と、その地域への影響について説明したものととして、最も適切なものはどれですか。 （2018年 山形県公立入試 類似）
- 暖流の影響で海水が蒸発して氷になったもので、夏の冷害を引き起こす原因となっている。
 - シベリア沿岸で生まれた氷が南下してくるもので、冬の重要な観光資源として活用されている。
 - 日本海の雪が海に流れ出て固まったもので、主に水田の灌漑用水として利用されている。
 - 太平洋側から北上してくる大規模な氷山で、冬の間の船舶の往來をすべて止めている。
- 問2 北海道の根釧台地にある別海町と、内陸の盆地に位置する旭川市の夏の気候を比較した際、別海町に見られる特徴と、それに関連した土地利用の様子を述べた文として正しいものはどれですか。 （2016年 大分県公立入試 類似）
- 旭川市に比べて冬の積雪量が圧倒的に多いため、冬の間の産業として酪農ではなく林業が中心となっている。
 - 旭川市よりも夏の気温が高く、日照時間が長いため、広大な土地を利用した稲作や畑作が盛んに行われている。
 - 旭川市に比べて降水量が極端に少なく、夏は干ばつに見舞われやすいため、大規模なダムと灌漑施設を利用した酪農が行われている。
 - 旭川市に比べて夏の気温が明らかに低く、沿岸部から広がる濃霧の影響を受けやすいため、多くの土地が牧草地として利用されている。
- 問3 農業従事者数と耕地面積の関係を示した資料において、他地域が「労働力が多く、耕地面積が狭い」傾向にあるのに対し、北海道は「労働力が少なく、耕地面積が極めて広い」という独自の特徴が見られます。このような北海道の農業の特色を端的に説明したものととして、正しいものはどれですか。 （2024年 福岡県公立入試 類似）
- バイオテクノロジーを駆使した都市近郊農業
 - 労働力集約型による小規模経営
 - 伝統的な手作業を中心とした多角経営
 - 大型の機械を活用した大規模経営
- 問4 2018年の統計において、畑作の農家一戸あたりの耕地面積を比較すると、全国平均が5万平方メートル未満であるのに対し、北海道は約20万から25万平方メートルという圧倒的に高い数値を示しています。このような広大な土地で効率よく耕作を行うために、北海道の農業で一般的に取り入れられている手法として最も適切なものはどれですか。 （2021年 岩手県公立入試 類似）
- 土地を細かく区画分けし、多種類の作物を量らず組み合わせる栽培手法
 - 豊富な労働力を一箇所に集中させ、手作業によるきめ細かな管理を行う手法
 - 大型の機械を導入し、少ない人数でも広範囲の作業を短時間でこなす手法
 - ビニールハウスなどの施設を大規模に建設し、一年中同じ作物を育てる温室栽培の手法
- 問5 北海道における人口分布の変化について、1950年から2010年までの統計的な傾向を説明した文として正しいものはどれですか。なお、この期間において北海道全体の人口は約430万人から約551万人へ、札幌市の人口は約62万人（1960年）から約191万人へと推移しています。 （2016年 群馬県公立入試 類似）
- 札幌市の人口は1960年から2010年にかけて、北海道全体の人口増加分を補えないほど減少した。
 - 北海道全体の人口増加に比例して、道内すべての市町村の人口が均等に3倍以上になった。
 - 道内人口に占める札幌市の割合は、1960年から2010年にかけて一貫して減少傾向にある。
 - 北海道全体の人口が緩やかに増加する中で、札幌市の人口はそれを大きく上回るペースで増加した。
- 問6 北海道の石狩平野で見られる「泥炭地」の土地改良について、その目的と仕組みを説明したものととして最も適切なものはどれですか。 （2022年 三重県公立入試 類似）
- 水分が多く植物の遺骸が堆積した土地に、別の場所から土を運び入れることで、排水性を高め稲作に適した農地にするため。
 - 砂丘が広がる乾燥した土地に、スプリングローなどの灌漑設備を整え、らっきょうやスイカなどの栽培を可能にするため。
 - 山がちな地形で平地が少ないため、斜面を階段状に切り開いて石垣で固定し、日当たりの良さを活かしてみかんを栽培するため。
 - 火山灰が降り積もった水持ちの悪い土地に、粘土質の土を混ぜ合わせることで、水田に必要な水を蓄えられるようにするため。
- 問7 北海道の知床（斜里町など）では、1980年の知床横断道路の開通などをきっかけに、1990年代には観光客数が180万人に達するほど急増しました。これにともなう環境の変化と、その対策として行われた取り組みの説明として最も適切なものはどれですか。 （2022年 栃木県公立入試 類似）
- 1990年代の急激な観光客増加に対応するため、自然保護よりも利便性を優先し、知床半島の奥地まで自由に自動車で移動できる制度を強化した。
 - 観光客の増加によって自然環境が損なわれることが懸念されたため、1999年から自動車の乗り入れ規制を開始し、保全と観光の両立を目指すエコツーリズムのガイドラインを策定した。
 - 世界自然遺産への登録を維持するために、2007年以降は一切の観光利用を禁止し、研究者以外の立ち入りを厳格に制限する方針に転換した。
 - 観光客が減少したことで地域経済が衰退したため、2005年に世界自然遺産に登録されたことを機に、新たな大型道路を建設して観光客の呼び戻しを図った。
- 問8 札幌市の気候の特色を、本州の都市と比較して説明したものととして、最も適切な内容を選んでください。 （2023年 福井県公立入試 類似）
- 1月の平均気温が氷点下となる一方で、梅雨前線の停滞により初夏の降水量が本州の都市よりも多くなる。
 - 緯度が高いため1月の平均気温が氷点下となり、梅雨や台風の影響が少ないため夏季の降水量が本州に比べて抑えられている。
 - 日本海流の影響を強く受けるため、1月の平均気温は氷点下にはならず、年間を通じて降水量が平均化されている。
 - 季節風の影響で冬の降水量は本州の日本海側より多いが、夏季は太平洋高気圧の影響で非常に高温多湿となる。
- 問9 北海道の地理的特徴や自然環境について述べた次の文のうち、知床半島に関連する記述として正しいものはどれか。 （2017年 愛知県公立入試 類似）
- 親潮（寒流）の影響を強く受けるため、夏季には季節風が温められて上昇し、年間を通して降水量が非常に多い地域である。
 - 亜熱帯の気候に属し、独自の進化を遂げた固有種が多く生息することから、小笠原諸島とともに世界自然遺産に選ばれている。
 - 流氷が接岸する北限の地として知られ、広大な泥炭地が広がることから、全域が世界文化遺産に登録されている。
 - 世界自然遺産に登録されており、海と陸の生態系のつながりが保たれているほか、周辺にはラムサール条約登録湿原もみられる。
- 問10 北海道の農業経営に関する二〇〇五年から二〇二〇年の推移について、統計的な事実として正しい説明はどれですか。なお、この期間において農業経営体の総数は減少しており、経営耕地面積の合計は約百七万ヘクタールから約百三万ヘクタールへと微減しています。 （2024年 大阪府公立入試 類似）
- 農業経営体の総数は減少したが、団体経営の数は増加し、経営の集約化が進んだ
 - 経営耕地面積が微減した主な原因は、団体経営の数が大幅に減少したことにある
 - 団体経営の割合が低下したため、一経営体あたりの経営耕地面積は縮小した
 - 農業経営体と団体経営の数がともに増加したため、耕地の奪い合いが起きた
- 問11 夏の北海道東部の太平洋沿岸では、濃霧（海霧）が発生しやすいため、8月の日照時間が約127時間にとどまる釧路のように、札幌（約171時間）と比較して日差しが遮られる傾向があります。この濃霧を発生させる要因となる、北海道の東側を南下する寒流の名称を次の中から選びなさい。 （2021年 茨城県公立入試 類似）
- リマン海流
 - 千島海流（親潮）
 - 日本海流（黒潮）
 - 対馬海流

- 問1 北海道の石狩平野では、かつて激しく蛇行していた石狩川の流路を、人工的に作り替える大規模な治水工事が行われました。このような「河川の直線化」が行われた主な理由と、その後の土地利用の変化について説明した記述として最も適切なものはどれですか。（2021年 神奈川県公立入試 類似）
1. 洪水の被害を軽減して水を速やかに海へ流し、泥炭地を排水して農地を拡大するため。
 2. 水力発電のための貯水池を確保し、周辺に製紙工場を誘致して工業化を進めるため
 3. 内陸部への大型船の通航を可能にし、水上交通を利用した工業地帯を形成するため。
 4. 川の流れを緩やかにすることで土砂を堆積させ、大規模な果樹園を造成するため。
- 問2 1977年から2017年にかけての北海道における稲作の動向について、作付面積と総収穫量はともに減少していますが、1ヘクタールあたりの収穫量は増加傾向にあります。このように、一定の土地面積から得られる収穫量が増える背景として、最も適切な説明はどれですか。（2019年 岡山県公立入試 類似）
1. 地球温暖化の影響のみによって、北海道全域が稲作に最適な亜熱帯気候に変化したため
 2. 政府の減反政策により、小規模な農家がすべて廃業して大規模農場に集約されたため。
 3. 生産技術の向上や寒さに強い品種改良が進み、土地あたりの生産性が高まったため。
 4. 化学肥料の使用を一切やめ、伝統的な手作業による農法に回帰したため。
- 問3 日本の農業に関する統計データにおいて、北海道が他の地方と比較して圧倒的に高い数値を示している二つの項目の組み合わせとして、最も適切なものはどれですか。（2017年 福岡県公立入試 類似）
1. 総農家数に占める兼業農家の割合と、一人あたりの労働時間
 2. 農業従事者一人あたりの農業使用量と、一人あたりのビニールハウスの面積
 3. 単位面積あたりの農業従事者数と、一人あたりの肥料使用量
 4. 農業従事者一人あたりの耕地面積と、一人あたりのトラクター保有台数
- 問4 北海道の石狩平野では、かつて稲作に適さない水分を多く含んだ泥炭地が広がっていました。この土地を農地に変えるために、他の場所から性質の異なる土を運び入れ、もとの土と混ぜ合わせて土壌を改良する方法が行われました。この技術の名称として正しいものを、次のうちから選びなさい。（2024年 福島県公立入試 類似）
1. 開拓
 2. 干拓
 3. 客土
 4. 輪作
- 問5 北海道の農業では、1経営体あたりの経営耕地面積が約30.6ヘクタールと全国平均の約14倍に達する大規模な経営が行われています。一方で、自営農業従事者に占める65歳以上の割合が増加し、総農家数が減少しているという課題があります。このような背景から導入が進められている、ロボット技術やICTを活用した「スマート農業」の主な目的として最も適切な説明はどれですか。（2021年 宮城県公立入試 類似）
1. 化学肥料の使用を一切禁止し、すべての農作業を人力に切り替えること
 2. 労働力不足や高齢化に対応し、作業の負担軽減や効率化を図ること
 3. 経営面積を縮小することで、小規模な家族経営農家を保護すること
 4. 手作業による伝統的な農法を維持し、農産物の希少価値を高めること
- 問6 日本の農業統計において、北海道は他地域と比較して耕地面積に占める牧草地の割合が非常に高いという特徴があります。このような広大な土地を利用した酪農で生産される生乳の利用状況について、正しい説明はどれですか。（2025年 岐阜県公立入試 類似）
1. 生産された生乳は、果樹園の肥料や家畜の飼料としてその大半が地域内で消費されている。
 2. 生産された生乳のほとんどが、鮮度を保持したまま大都市圏へ飲用として出荷されている。
 3. 生産された生乳の8割以上が、バターやチーズなどの加工用として利用されている。
 4. 生産された生乳は、九州地方などの遠方の乳製品工場へ生乳のまま輸送されることが一般的である。
- 問7 日本国内で最大の小麦収穫量を誇る北海道において、生産効率を高めるために展開されている農業経営の特色として、最も適切な説明はどれですか。（2020年 大阪府公立入試 類似）
1. 1戸あたりの耕地面積が広く、大型機械を活用した大規模な土地利用型農業が行われている
 2. 山間部の傾斜地に作られた階段状の畑を利用し、手作業を中心とした緻密な農業が行われている
 3. 温暖な気候を利用して、同一の耕地で年に2回異なる作物を栽培する二毛作が行われている
 4. 大消費地に近い立地を活かし、限られた土地で付加価値の高い野菜を作る集約的な農業が行われている
- 問8 日本の各地域における農業産出額の内訳を比較すると、北海道は東北地方などと比較して「畜産」が占める割合が非常に大きいという特徴があります。北海道において、特に根釧台地などを中心に大規模な畜産業が発達した背景として最も適切なものはどれですか。（2019年 岡山県公立入試 類似）
1. 大消費地である東京に隣接しており、新鮮な果物や野菜を毎日トラックで即座に出荷できる立地条件であったため
 2. 広大な土地を活用した大規模経営が可能であり、冷涼な気候が稲作よりも乳牛の飼育に適していたため
 3. 急峻な山地が多く機械化が困難なため、人の手による労働集約的な飼育が伝統的に行われてきたため
 4. 温暖な気候を利用して、一年に二度同じ土地で稲を栽培する二期作を行うよりも効率が良かったため
- 問9 北海道の農業統計において、1970年代後半から約40年間で、稲の作付面積と総収穫量が減少している一方で、単位面積あたりの収穫量が増加している現象を説明する用語として、最も適切なものはどれですか。（2019年 岡山県公立入試 類似）
1. 自給足率の低下
 2. 農業生産性の向上
 3. 耕作放棄地の拡大
 4. 促成栽培の普及
- 問10 日本の諸地域の特色をまとめた統計において、人口が約532万人であり、豊かな自然環境を背景に宿泊施設の延べ宿泊者数が約356万人、温泉地数が244箇所と全国的にも上位に位置する一方で、国宝の指定件数が1件にとどまっている地域はどこですか。（2023年 福岡県公立入試 類似）
1. 関東地方
 2. 北海道地方
 3. 九州地方
 4. 中部地方
- 問11 東京都から各道県への旅客輸送に関する統計において、ある道県は鉄道の利用者が約19万人であるのに対し、航空機の利用者が約627万人と突出して多くなっています。この統計が示す道県の名称と、航空機の利用割合が極めて高い理由の組み合わせとして最も適切なものを次から選びなさい。（2022年 栃木県公立入試 類似）
1. 道県名は大阪府であり、ビジネス客の利便性を高めるために航空路線の便数が鉄道の運行本数を上回っているから
 2. 道県名は北海道であり、青函トンネルが貨物専用となっており、旅客が鉄道で海を渡ることができないから。
 3. 道県名は新潟県であり、山岳地帯を通過する鉄道よりも、直線的に移動できる航空機の方が効率が良いから。
 4. 道県名は北海道であり、東京都からの移動距離が長いため、所要時間の短い航空機が優先的に選択されているから。